

内閣支持率急落34.7%

第2次政権で最低

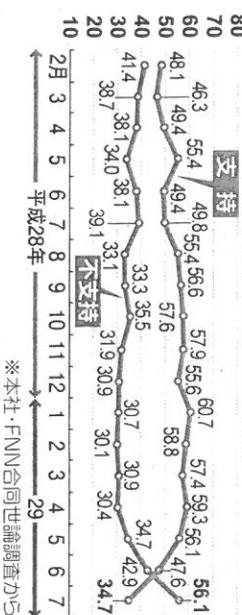
産経新聞社とFNN（フジテレビ）は22、23両日、合同世論調査を実施した。安倍晋三内閣の支持率は34.7%、不支持率は56.1%だった。前回調査（6月17、18両日）と比べ支持は12.9%p下落、不支持は逆に13.2%p上昇し、平成24年12月の第2次安倍内閣発足後は最低、不支持は最高をそれぞれ記録した。2面に主張、5面に質問と回答

首相を「信頼」29%

学校法人「加計学園」（岡山市）の獣医学部新設受け止めたい」と述べた。内閣支持率の下落は3カ月連続となった。不支持が支持を上回るのは27年9月以来、1年10カ月ぶり。第2次内閣発足後の最低の支持率は27年7月の39.3%だった。首相を「信頼していない」は63.8%だった。

首相は24日の衆院予算委員会での審議で、報道計画をめぐり、政権を批判する前川喜平前文部科学事務次官と、政権を評価する

安倍内閣の支持率の推移



かとの設問では、前川氏「どちらが説得力があるか」との設問では、前川氏

産経新聞社・FNN合同世論調査で「いま首相はどうか」、1位は自民党の石破

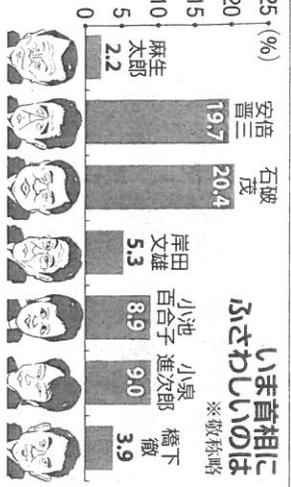
との回答が52.2%、加戸氏は28.5%となった。

内閣に提出する方針に首相が自民党総裁として憲法改正の意向を示したと関連し、現行の9条を維持した上で自衛隊の存在を明記することについては賛成が55.3%、反対が31.1%で、前回から6.9ポイント増えた。以下、民進党7.0%、公明党5.3%、共産党4.6%、日本維新の会3.2%と続いた。

「更迭すべき閣僚」稲田氏タレントさわしい人物」を聞いた世論調査で「いま首相はどうか」、1位は自民党の石破

石破氏 首相にふさわしい人物 1位

茨前地方創生担当相で20.4%だった。安倍晋三首相は19.7%で2位となり、石破氏の後



氏10.9%を大きく上回

た、自民党支持層の1

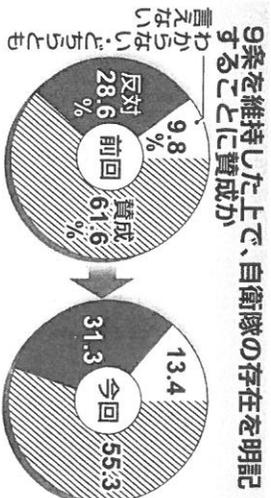
位は安倍首相で47.1%、石破氏は2位で18.6%となり、順位が逆転した。公明党支持層でも1位は首相で、石破氏は2位だった。一方、8月3日予定の内閣改造に合わせ「代えたほうがいい閣僚」に最も多く挙げられたのは稲田朋美防衛相で、63.1%とタレントだった。

東京都議選での失言や南

（PKO）日報問題の対

応などが原因とみられ、内閣支持率の下落にも影響し

たとみられる。



9条を維持した上で、自衛隊の存在を明記することに賛成か

「自民党は改憲が党是なの
で、議論していくのは当然
だ」。菅義偉官房長官は24日
の記者会見で、内閣支持率が
急落しても秋の臨時国会の間
に自民党改憲案をまとめるど
い首相の方針に変わりはない
かと問われ、こう述べるに
とどめた。だが、自民党憲法
改正推進本部の幹部は24日、
支持率下落と憲法改正との関

国民投票に懸念

11面参照

(甲中一世)

内閣支持率急落が安倍晋三首相
(自民党総裁)の非難でも憲法
改正に暗い影を落としている。22
日(アニマスネットワーク)の
合同世論調査で憲法改正に賛成が46
・5％と反対(43・8％)を上回っ
たが、内閣支持率は第2次安倍内閣
以降で最低となり、首相が拙く改憲
日程に影響しかねないからだ。「安
倍1強」が揺らぐ中、自民党内から
異論が強まる可能性がある。

本社・FNN合同世論調査揺らぐ「安倍1強」

改憲賛成多数も自民及び腰

係について懸念を示した。
「改憲の是非を決める国民
投票を考えると、影響は当然
ある。党内で(改憲をめぐ
り)政局を起したがる人も
出てるだろう」
推進本部の保岡興治本部長
も23日のライブ番組で「信は
くは立たず。政権や与党への
信頼が改憲(の日程)に大き
く影響する」という点はある」
と語った。

くずぶる慎重論

手痛いの、自民党支持層
でも「改憲離れ」が見られる
ことだ。支持層のうち改憲に
賛成が67・7％(前回調査比
7・9ポイント増)。逆に、反対は
22・3％(同比2・6ポイント増)
となった。9条を維持した上
で自衛隊を明記する改憲案
も、同党支持層の賛成は74
・6％と高いが、全体の回答と
同様に減少している。

それでも、首相は秋の臨時
国会で各党がそれぞれ改憲案
を示し、議論を進めるべきだ
という考えを崩していない。

23日も横浜市のイベントの
対談で「各党はただ単に反対
という主張ではなく、案を持
ち寄っていただきたい」と訴
えた。

党内では「改憲も重要だが
果して優先順位として焦っ
てやることなのか(村上誠
一郎元行政改革担当相)など
と慎重論がくすぶる。東京都
議選の大敗や内閣支持率低下
で嵐だりが強まる中、首相
や執行部は今後、厳しい局
面を迎えそうだ。

産経新聞社・FNN合同世論調査で
は、東京都の小池百合子知事や都議選で
旋風を巻き起した「都民フリスト」の
会への期待の高さが示された。都民が
国政に進出すれば、調査で政党支持率を
大きく減らした自民党をはじめ既成政党
にとって脅威になるのは避けられない。
小池氏を「支持する」との回答は88
・9％で、前回調査から3・2ポイント増え、7
割近くに達した。「支持しない」は前回
の22・3％、民進党支持層の38・6％が
都民に「投票する」と答えた。

31.9%が「投票する」

また、都民が国政に進出した場合、選
挙で投票するかを聞いたところ「投票す
る」は31・9％だった。「投票しない」
が52・5％に達したとはいえ、「投票す
る」の回答を「政党支持率」とみなせ
ば、都民の「支持率」は自民党の29・1
の22・3％を上回っている。さらに自民党支持層
の22・3％、民進党支持層の38・6％が

国政に「都民」なら自民超え？

産経新聞社・FNN合同世論調査で
は、東京都の小池百合子知事や都議選で
旋風を巻き起した「都民フリスト」の
会への期待の高さが示された。都民が
国政に進出すれば、調査で政党支持率を
大きく減らした自民党をはじめ既成政党
にとって脅威になるのは避けられない。
小池氏を「支持する」との回答は88
・9％で、前回調査から3・2ポイント増え、7
割近くに達した。「支持しない」は前回
の22・3％、民進党支持層の38・6％が
都民に「投票する」と答えた。

性別・年代別の内閣支持率推移

	5月	6月	7月
全体	56.1	47.6	34.7
男性計	60.3	53.1	38.6
10・20代	70.8	58.3	44.4
30代	68.0	54.7	53.3
40代	56.2	48.3	40.4
50代	56.2	53.4	35.6
60代以上	56.6	52.6	30.3
女性計	52.1	42.4	31.0
10・20代	70.6	54.4	33.8
30代	55.6	41.7	36.1
40代	61.2	37.6	29.4
50代	48.6	37.5	27.8
60代以上	42.9	42.5	30.1

※単位は％。白抜きは「支持」と「不支持」が同等率の「60代以上」女性

支持率、40・50代女性危険水域 30代男性のみ過半数

産経新聞社・FNN合同世論調査で、民進党
の蓮舫代表が戸籍謄本の一部などを開示し、台湾
籍と日本国籍の「二重国籍」問題を説明したこと
について聞いたところ「納得できる」が45・8
％、「納得できない」が45・2％と拮抗した。た
だ、民進党の支持率は7・0％と前回調査比1
・3ポイント下落し、蓮舫氏の説明が求心力回復につな
がったかどうかは不透明だ。
蓮舫氏に「期待する」との回答は27・9％。
「支持政党なし」で蓮舫氏に期待を示したのは30
・2％にとどまり、依然として無党派層の支持獲得
に苦しんでいる。戸籍の一部を公開した蓮舫氏
の対応について、民進党内では「公開は差別の助
長につながる」との批判が出ていた。しかし今回
の調査では民進党支持層の75・7％が戸籍の一部
公開と説明について「納得できる」と答えた。
一方、民進党の野田佳彦幹事長は24日の記者会
見で、政党支持率の下落に歯止めがからない理
由について「東京都議選の総括の最中、現時点
で党としての前向き感がない」と述べた。その上で
「総括して前に進める体制をつくり、支持率が上
がるよう頑張りたい」と述べた。

蓮舫氏の戸籍開示 評価拮抗

下になった。60代以上は30
・1％で、前年から12・4
ポイント下落した。男性も全ての
年代で支持率が下落した。た
だ、30代だけは支持率が59
・3％と過半数を維持した。
内閣支持率を政党別でみ
ると、連立与党の公明党の
支持層で支持と不支持が逆
転し、不支持が43・4％、支
持が41・5％だった。
世論調査では、首相の
「人柄」と「指導力」が、今
回はいずれも50％を割り、
前回からは31・8ポイント急減
「評価しない」を上回った。

主張

<2017. 7. 25>

姿勢を改め信頼取り戻せ

内閣支持率の急落

自らの政治姿勢や言動に有権者が厳しい視線を向けていた。それが顕著な数字で示されたこと調査では、首相を「信頼していない」と答えた人がほぼ3割に上り、逆「信頼していない」の回答も割合を超えた。首相の責任政党として、国民に痛みも与えているのも、やむを得まい。「加計学園」の獣医学部新設計まで落ち込んだ。平成24年の第2次内閣発足以降、最低の水準である。すぐに思い浮かぶ要因には、失

言ほど支那を稲田朋美防衛相の存在がある。さらに、その任命責任を負った安倍首相自身も、学校法人「加計学園」問題への対応に誠実さが欠けると思われている。多くの国民の信頼を得られない状況で、重要課題を遂行するのは困難である。誤解があれば説明を

「なかなか厳しいけれど、内閣支持率が約35%あればま

「およかった。これにめげずにい

「頭張る」

安倍晋三首相は産経新聞社員人事を断行しても、選に漏れた閣僚候補らには不満が残るうえ、衆院解散・選挙等と

安倍内閣後、最低となったという首相の最大のカードも事

とについて周回三つ語って

いる。第2次内閣以降、最も

支持率の低下は野党を勢い

づかせ、自民党内での求心力が、安倍首相は初心に立ち返

を弱める。因内政治の不安定

化は、日本の国際的影響力も

どん底経験 消えぬ闘志

10年前「一度死んだ人間」

「と語った。その認識を忘れず、政権運営にも生かしてほしい。内閣改遣は、人心を一新し、国民の期待を取り戻す陣容を整える機会とすべきた。

「安倍1強」と呼ばれながら、一転して苦境に立たされた。それでも、首相が掲げる政治課題への取り組みを、さらに強めなければならぬ状況は不変である。責任政党として、国民に痛みも与えているのも、やむを得まい。併つて改革を求めるなど、拍手喝采されない政策でも断行しなければならぬ。政策以外の、無用な不信の種はなぐすに尽きる。自民党は政党支持率を6月から7割近く減らした。相次ぐ若手議員の不祥事を許し、首相を支える

「くたびれるねえ」

有権者の不興を買ったことに

を突き放したよつな答弁が

(論説委員兼政治部編集委員 阿比留瑠比)

「24年9月に再び自民党総裁深い反省を抱いているよう

「内閣支持率低下は」私

「経験を紹介していた。どん底

の答弁への批判もあるのだら

「疑念目が向けられる

はもつともだ。その観点欠

「けいた

24日の衆院予算委員会安

背景には、憲法改正や拉致

問題の解決など、自分やら

安倍首相は繰り返して述べ、

なければ誰も本気でやること

丁寧な説明を心掛けた。失わ

はないという自負と使命感が

れた信頼は一度には取り戻せ

ある。だが、加計学園の獣医学部

義をとる首相は、焦るす時間

をにかけて取り組む覚悟なのだ

身に覚えがないゆえの質問者

ろ。

を突き放したよつな答弁が

(論説委員兼政治部編集委員

阿比留瑠比)

■ 合同世論調査 主な質問と回答

【問】 安倍晋三内閣を支持するか

支持する 34.7(47.6)
支持しない 56.1(42.9)
他 9.2(9.5)

どちらに説得力があるか

前川氏 52.2
加戸氏 23.5
他 24.3

【問】 どの政党を支持するか

自民党 29.1(36.0)
民進党 7.0(8.3)
公明党 5.3(4.1)
共産党 4.6(5.6)
日本維新の会 3.2(3.5)
社民党 1.3(0.8)
自由党 0.8(1.3)
日本のこころ 0.2(0.2)
その他の政党 2.0(1.7)
支持する政党はない 45.7(38.1)
他 0.8(0.4)

【問】 安倍政権で次に挙げるものを評価するか

《首相の人柄》
評価する 45.6(56.5)
評価しない 48.4(38.2)
他 6.0(5.3)

《首相の指導力》

評価する 40.3(55.0)
評価しない 54.2(39.5)
他 5.5(5.5)

《異気・経済対策》

評価する 35.4(40.1)
評価しない 55.3(51.3)
他 9.3(8.6)

《社会保障政策》

評価する 28.5(33.1)
評価しない 61.2(55.8)
他 10.3(11.1)

《外交・安全保障政策》

評価する 44.1(51.6)
評価しない 45.7(38.9)
他 10.2(9.5)

【問】 安倍首相を信頼しているか

信頼している 29.6
信頼していない 63.8
他 6.6

【問】 「加計学園」の獣医学部新設計画めぐり、「行政がゆがめられた」とする前川・前文科事務次官と「ゆがめられた行政を正した」とする加戸・前愛媛県知事の

【問】 第1次安倍内閣以降の内閣

で最も評価するのは

福田内閣 7.9
麻生内閣 4.4
鳩山内閣 4.0
菅内閣 4.3
野田内閣 7.9
第2次、第3次安倍内閣 41.5
他 30.0

【問】 民進党の蓮舫代表に期待するか

期待する 27.9
期待しない 67.4
他 4.7

【問】 蓮舫氏は自身の二重国籍問題に関し、違法状態を25年以上放置し、参院議員や閣僚となったことについて「故意ではない」と説明した上で謝罪したが、説明に納得できるか

納得できる 45.8
納得できない 45.2
他 9.0

【問】 ICBM発射などの軍事的挑発を続けている北朝鮮に関して「北朝鮮の動向に不安を感じるか」

感じる 92.1
感じない 6.8
他 1.1

《国際社会は対話が圧力のどちらに重点を置くべきか》

対話に重点 33.8
圧力に重点 59.9
他 6.3

《米国と北朝鮮が軍事衝突する可能性を懸念しているか》

懸念している 73.8
懸念していない 22.7
他 3.5

【問】 社会保険料を上乗せして保育・幼児教育を無償化する「子ども保険」の導入に賛成か

賛成 58.3
反対 32.3
他 9.4

【問】 小池百合子東京都知事を支持するか

支持する 88.9(65.7)
支持しない 22.1(22.7)
他 9.0(11.6)

【問】 小池知事が率いた都民フアーストの会が国政に進出した場合、選挙で投票するか

投票する 31.9(31.7)
投票しない 52.5(49.6)
他 15.6(18.7)

■ 世論調査の方法

調査エリアごとの性別・年齢構成に合わせ、電話番号を無作為に発生させるRDD(ランダム・ディジット・ダイヤリング)方式で電話をかけ、算出した回答数が得られるまで調査を行った。調査対象は全国の18歳以上の男女1000人

【問】 いま、首相に誰がふさわしいか

麻生太郎氏 2.2
安倍晋三氏 19.7
石破茂氏 20.4
岸田文雄氏 5.3
小池百合子氏 8.9
小泉進次郎氏 9.0
橋下徹氏 3.9
前原誠司氏 0.5
蓮舫氏 1.7
他の政治家 4.1
ふさわしい人はいない 21.6
他 2.7

(注)数字は%。カッコ内の数字は6月17、18両日の前回調査結果。「他」は「わからない」「言えない」など。

